

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	ネットワーク・システム等保守 一式	
契約締結日	令和4年3月15日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト	
入札経緯及び結果	令和4年2月3日 入札公告	
	令和4年2月28日 関係書類提出締切	
	令和4年3月8日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務にかかる準備期間は十分に確保されている。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	仕様書の受け取りは応札の一者のみ。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級Cに加え、A～D全ての等級で参加可能とした。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良国立博物館の展示場における来館者対応等業務 一式	
契約締結日	令和4年3月30日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日経サービス	
入札経緯及び結果	令和4年2月25日 入札公告	
	令和4年3月17日 関係書類提出締切	
	令和4年3月29日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	2本の契約を一本化し効率化を図ったが、内容は従前どおり。
②業務等準備期間の十分な確保	×	人員不足により十分に確保できない。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	2者より、現体制では仕様内容で請け負えない旨の回答あり。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級Aに加え、B,C等級でも参加可能とした。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
金額が高額の割に、公告期間が短い。入札参加者の準備期間を十分に確保するため、より公告期間を長くする必要がある。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な公告期間や、契約後の履行準備期間を確保できるように改善する。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館X線分析顕微鏡保守業務 一式	
契約締結日	令和4年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和4年1月7日 入札公告	
	令和4年1月27日 関係書類提出締切	
	令和4年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館レーザーラマン分光分析装置保守業務 一式	
契約締結日	令和4年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和4年1月7日 入札公告	
	令和4年1月27日 関係書類提出締切	
	令和4年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館蛍光X線分析装置保守業務 一式	
契約締結日	令和4年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和4年1月7日 入札公告	
	令和4年1月27日 関係書類提出締切	
	令和4年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	7	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館分析走査電子顕微鏡保守業務 一式	
契約締結日	令和4年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和4年1月7日 入札公告	
	令和4年1月27日 関係書類提出締切	
	令和4年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	8	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館ATOS Triple Scan 16Mシステム、ATOS Professionalソフト保守業務 一式	
契約締結日	令和4年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和4年1月7日 入札公告	
	令和4年1月27日 関係書類提出締切	
	令和4年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	9	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館局所排気システム保守業務 一式	
契約締結日	令和4年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和4年1月7日 入札公告	
	令和4年1月27日 関係書類提出締切	
	令和4年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	10	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館露出展示資料IPMメンテナンス業務 一式	
契約締結日	令和4年3月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社タクト	
入札経緯及び結果	令和4年1月26日 入札公告	
	令和4年2月15日 関係書類提出締切	
	令和4年3月1日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。 また、福岡県との共同契約であるため、福岡県の入札公告にも掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	11	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	プラネタリウムドームの設営等	
契約締結日	令和3年12月14日	
契約の相手方の商号又は名称等	コニカミノルタプラネタリウム株式会社	
入札経緯及び結果	令和3年11月11日 入札公告	
	令和3年12月7日 関係書類提出締切	
	令和3年12月14日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	必要と思われる設備およびその仕様につき改めて精査を行った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで約2ヵ月確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を25日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明書受領者が1者であった。
⑦競争参加資格の拡大	○	競争参加資格としてA～D等級を定めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、十分な公告期間の確保、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	12	
入札及び契約方式	事前確認公募型随意契約	
契約の件名及び数量	東京国立博物館でのクラウド型図書館システム保守業務	
契約締結日	令和4年1月7日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本事務器株式会社	
入札経緯及び結果	令和3年12月2日 随意契約事前確認公募公告	
	令和3年12月24日 関係書類提出締切	
	令和4年1月7日 契約締結	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	契約後業務開始までの準備期間を約3カ月間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明書受領者が1者であった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する等級だけでなく、規定上拡大が認められる範囲内で全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間を確保し、併せて仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
今後も一者応札が続く可能性があるため、仕様を含む内容の見直しが必要である。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き公告期間を20日以上確保し、仕様書の見直し等を検討したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。